授業 科目名	精神看護学方法論 I Methods in Psychiatric Nursing I	履修年次:	単位数: 30 時間	担当教員名: 科目責任者 小宮浩美 〔看護師〕 (研究室 教育棟 B315) 加藤隆子〔看護師〕 小林雅美〔看護師〕
		必修: 看 2 年	コード: NSP210	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III. 実践に必要な知識、I. 倫理観とプロフェッショナルリズム、II. コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 精神障害をもつ対象を統一体として理解し、回復過程を促進する看護の役割、実践、展開方法を説明できる。 2) 患者―看護師関係の特徴と自己理解・他者理解を深め、治療的関係を構築するための方法を説明できる。 3) 精神看護を実践する者として必要な倫理的態度を身につける。				
〔授業の概要〕				
本授業は、精神障害をもつ対象を統一体として理解し、疾病の予防と回復に必要な精神看護学における基本知識と技術、態度を修得すること、生活の場に応じた看護のあり方を学修することを目的とする。精神症状と看護援助、精神科特有の検査や治療と看護、主要な精神疾患の理解と看護、患者―看護師関係に関連した理論、精神科リハビリテーションおよび地域精神保健活動について、精神科看護師の実務経験を活かした講義と演習方式で教授する。				
キーワード: 精神疾患、精神障害、精神科看護、患者―看護師関係、ケアリング				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1・2回	10/2	ガイダンス、精神看護学の基本 ケアの人間関係	精神の健康とは、精神看護学とは ケア、ケアリング、患者―看護師関係の特徴	小宮
第3・4回	10/9	精神疾患の主な治療法と看護	薬物療法、電気けいれん療法、リハビリテーション 療法、精神療法、WRAP、心理教育	小宮
第5・6回	10/16	双極症・うつ病をもつ人への看護 精神障害をもつ人の抱える症状と診断 のための検査	精神科救急システム、双極症・うつ病の看護 精神機能と精神情緒状態の把握	特別講師 小宮
第7・8回	10/23	統合失調症をもつ人への看護と家族へ の看護	統合失調症の回復過程とアセスメント、家族への看 護	小林
第9・10回	10/30	精神看護の発展(1) 不安症・強迫症をもつ人への看護	精神看護専門看護師の役割と実践 精神疾患/障害の診断基準・分類、不安症・強迫症 の看護	特別講師 小宮
第11・12回	11/6	物質関連障害をもつ人への看護 トラウマ・解離性障害・パーソナリテ ィ障害・摂食障害をもつ人への看護	物質関連障害の疾患概念、治療や看護 トラウマ・解離性障害・パーソナリティ障害・摂食 障害の看護	小宮/ 特別講師 加藤
第13・14回	11/13	精神看護の発展(2) 精神看護の援助技法(1) 精神看護の援助技法(2)	司法精神医療と看護 認知行動療法、リラクゼーションの演習	特別講師 小宮/加藤 /小林
第15回	11/20	精神障害をもつ人々を地域で支える 看護	地域生活の再構築と社会参加(ケアシステムと法制 度、地域の支援、ケアマネジメント)	小宮/加藤 /小林/ 特別講師
履修条件	精神看護学概論の単位を修得していることが望ましい。			
予習・復習	予習は教科書の該当部分を熟読すること。復習は配布資料をよく読み、授業で学んだこと等をFormsに記載して提出すること。他、授業中に予習・復習を提示する。			
テキスト	精神障害をもつ人の看護(新体系看護学全書―精神看護学) 岩崎 弥生(編集)、渡邊 博幸(編集) メジカルフレンド社			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適時紹介する。			
学生に対する評価	小テスト(5%)、定期試験(60%)、課題レポート(30%)、学習態度(5%)により、総合的に評価する。*本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと(但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)			

授業 科目名	精神看護学方法論Ⅱ Methods in Psychiatric Nursing Ⅱ	履修年次	1 単位 30 時間	担当教員名: 科目責任者 小宮浩美 〔看護師〕 (研究室 教育棟 B315) 加藤隆子〔看護師〕 小林雅美〔看護師〕
		必修: 看 3 年	コード: NSP211	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱ. コミュニケーション能力、Ⅰ. 倫理観とプロフェッショナリズム Ⅲ. 実践に必要な知識				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1) 精神障害をもつ対象を統一体として理解し、回復過程を促進する看護の役割、実践、展開方法を説明できる。 2) 自己理解・他者理解を深め、治療的な患者—看護師関係を構築するための技術と態度を身につける。 3) 回復過程を促進するための援助方法を探求し、看護過程を展開する技術を身につける。				
〔授業の概要〕				
本授業は、精神障害をもつ対象の回復に向けた実践的な技術と態度を学修することを目的に、精神科看護師の実務経験を活かした講義と演習方式により精神看護学方法論に関する学修の支援を行う。個人ワークやグループワークを通して、具体的な実践方法を修得することを目指す。				
キーワード: 精神疾患、精神障害、精神科看護、患者—看護師関係、ケアリング				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1・2回	4/14	ガイダンス、精神看護学における倫理 精神の病気・障害をもつということ	精神看護における倫理と安全管理 精神障害をもち地域生活をしている人の体験の理解	小宮 特別講義 講師
第3・4回	4/21	感情活用の理論と実際 タッチケアの理論と技術	感情活用の技法 リラクゼーションとしてのハンドマッサージの実施と評価	加藤 小宮/加藤 /小林
第5・6回	4/28	看護過程展開演習 精神看護の看護過程に活用する理論 事例紹介/生育歴・生活歴・現病歴のアセスメント、MSE	看護過程展開に関する理論 事例(統合失調症、うつ病)の動画視聴、統一体モデル①とMSE(精神情緒状態)の個人ワーク	小宮/加藤 /小林
第7・8回	5/12	生育歴・生活歴・現病歴のアセスメント、 MSE(精神情緒状態)	統一体モデル①とMSEのグループでの検討 全体での発表と解説	
第9・10回	5/19	日常生活力アセスメント、発達段階、健康 障害の種類、健康の段階、生活過程の特徴 の理解	日常生活力アセスメント、統一体モデル②のグループでの検討 全体での発表と解説	
第11・12回	5/26	回復のための条件、看護目標・看護計画	回復のための条件、看護目標・看護計画のグループワーク 全体での発表と解説	小宮/加藤 /小林/ 特別講義 講師
第13・14回	6/2	精神看護における援助技術 統合失調症/うつ病をもつ人へのかかわり	かかわりを振り返ることの意味・プロセスレコードの活用方法・ケアリングの講義 看護計画の実施(ロールプレイ演習)	
第15回	6/9	精神科看護実践演習	精神症状のある人への対応(ロールプレイ演習)	
履修条件	精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰの単位を修得していることが望ましい。			
予習・復習	予習は教科書の該当部分を熟読すること。復習は配布資料をよく読み、授業で学んだこと等をFormsに記載して提出すること。他、授業中に予習・復習を提示する。			
テキスト	精神障害をもつ人の看護(新体系看護学全書—精神看護学) 岩崎 弥生(編集)、渡邊 博幸(編集) メジカルフレンド社			
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適時紹介する。			
学生に対する評価	定期テスト(60%)、課題レポート(30%)、学習態度(10%)により、総合的に評価する。 *本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと(但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)			

授 業 科 目 名	退院支援論 Discharge Planning	履修年次	1単位15時間	担当教員名： 科目責任者 春日広美〔看護師〕（研究室 B312）
		選択：看3年 編入3年	コード：NSP212	
		実務経験のある教員による授業科目		小宮浩美〔看護師〕
〔DP〕Ⅲ. 実践に必要な知識、Ⅵ. 多職種との協働、Ⅱ. コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 退院支援の背景、概念、制度の概要、関係職種について理解できる。 2. 対象が療養の場（病院、介護保険施設、自宅）を移行する際に必要な支援を理解できる。				
〔授業の概要〕				
この授業は講義形式により、患者（療養者）とその家族への入退院支援について学習する。入院支援、退院支援、退院調整の概念の理解をはじめとして、入退院支援にかかわる制度の概要、退院支援におけるアセスメント、施設内外の多職種との連携、地域連携室、退院調整看護師の役割と機能、退院支援にかかわる病棟看護師の活動、療養の場（病院、介護保険施設、自宅）に応じた特徴的な退院支援について学習する。 保健師、看護師、訪問看護師、退院調整看護師などの実務経験に基づきオムニバス形式で講義を行う。 キーワード：退院支援 退院調整看護師 地域連携				
〔授業計画〕				
回数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第0.5回	6/17	入院・退院支援とは	入院・退院支援、退院調整の概念、制度、求められる背景	春日 広美
第1回	6/24	療養の場を移行すること	対象からみた療養の場の移行	春日 広美
第2回	7/1	入退院支援における多職種連携 在宅における準備	1. 退院支援の必要性のアセスメント と病院内外の関係職種・機関との連携 2. 在宅サービスが準備しておくこと	春日 広美
第3回	7/8	退院調整看護の実際	退院調整看護師の活動の実際	浅井 美千代 〔特別講師〕
第4回	7/15	急性期病院における退院支援	急性期病院における困難事例	浅井 美千代 〔特別講師〕
第5回	7/22	介護保険施設における退院・ 退所支援	病院から介護保険施設への退院支援、 介護保険施設から在宅への退所支援	佐伯 恭子 〔特別講師〕
第6回	7/24	精神科病院における退院支援	精神疾患をもつ患者とその家族への 退院支援	小宮 浩美
第7回	7/29	地域包括ケア時代の入退院支援	入退院支援の未来と医療者の役割	春日 広美
履修条件	なし			
予習・復習	必要時、授業内で提示する。			
テキスト	なし			
参考書・参考資料等	必要時、授業内で提示する			
学生に対する評価	各回授業内での小テストまたはレポート（90%）学習態度（10%）で総合的に評価する。			

授業 科目名	高齢者看護学実習 (Gerontological Nursing practicum)	履修年次:	3 単位 135 時間	担当教員名: 木内千晶[看護師](研究室:教育 棟 B305)、佐伯恭子[看護師]、東 辻朝彦[看護師]、青木綾香[看護 師]
		必修 看 3・4 年	コード: NSP304	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 II コミュニケーション能力、III 実践に必要な知識、VI 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 高齢者の身体、生活、精神・心理、社会、およびスピリチュアルな側面を統合し、看護の対象となる高齢者の全体像をとらえることができる。 2. 住み慣れた地域での生活を見据えた、高齢者へのシームレスなケアや看護の必要性について理解し、高齢者の個性に応じた看護計画を立案、実施、評価、修正することができる。 3. 保健医療福祉専門職が活動する場面を体験することで、高齢者とその家族に提供されている保健医療福祉サービスを理解し、看護独自の機能について考察できる。 4. 保健医療職を志す学生としての態度を踏まえ、実習に臨むことができる。				
〔授業の概要〕 老年期特有の健康上の課題や生活上のニーズをもつ高齢者を受け持ち、高齢者の尊厳を守りつつ、自立支援を念頭に置いた援助方法を、実践を通して学ぶ。医療施設や介護保険施設等において医療や介護に従事する専門職の協働・連携のあり方と看護職の役割、ならびに、わが国の保健・医療・福祉のシステムについて理解すると共に、看護師としての態度を養うことを目的とする。				

キーワード: 高齢者、介護保険施設、保健医療福祉サービス、住み慣れた地域での生活、看護過程				
〔授業計画〕				
回数	テーマ	内 容		担当
第1回	学内オリエンテーション	実習目的・目標・方法、実習施設の説明 実習に必要とされる知識、技術に関する復習		木内千晶 佐伯恭子 東辻朝彦 青木綾香
第2～5回	病院地域連携部門 血液透析室 通所サービ スでの実習	高齢者の在宅移行支援の実際、通院治療を受けながら生活する高齢者への支援の実際、通所サービスを利用する高齢者への支援の実際について学ぶ		
第6～14回	介護保険施設での実習	療養を要する高齢者とその家族への看護の実際を学ぶ 受け持ち利用者の看護過程を展開し高齢者の個性に応じた看護を計画、実施、評価する		
第15回	実習全体のまとめ	面接、記録提出		
履修条件	看護技術論Ⅳ～Ⅵ、高齢者・在宅看護学概論、高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ、高齢者看護学方法論Ⅱ、看護学入門実習、基礎看護学実習の単位を修得していること			
予習・復習	予習は高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ、高齢者看護学方法論Ⅱでの既習内容を確認することを推奨する 復習は実習記録の見直しをすることを推奨する			
テキスト	新体系看護学全書 老年看護学①②メヂカルフレンド社 看護診断の看護過程ガイド 中央法規			
参考書・参考資料等	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ、高齢者看護学方法論Ⅱで使用した資料や参考書			
学生に対する評価	実習目標の達成状況 (100%) により、総合的に評価する。 ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと (但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。			

授業 科目名	在宅看護学実習 Home Care Nursing Practicum		履修年次 看3・4年	1単位 45時間 コード: NSP305	担当教員名: 春日広美[看護師] (研究室: B312) 成玉恵[保健師]
			実務経験のある教員による授業科目		
	[DP] I 倫理観とプロフェッショナリズム、III実践に必要な知識、VI多職種との協働				
[授業の到達目標及びテーマ]					
1) 在宅療養者の健康障害と生活への影響、その家族の生活状況を理解できる。 2) 在宅療養者とその家族が望む生活をおくるための看護の支援を理解し、その一部を实践できる。 3) 地域包括ケアシステムを基盤とした、在宅療養者とその家族を支援するケアシステムにおける看護の役割を述べる ことができる。 4) 在宅における看護を学習する学生として適切な態度をとれる。					
[授業の概要] 健康障害を持って在宅で療養する人とその家族を理解し、これらの人々が望む生活を他職種とともに地域 包括ケアシステムの中で支える看護の活動の実際を学ぶ。					
キーワード: キーワード: 在宅療養者、家族、在宅看護、訪問看護、多職種連携、地域包括ケアシステム、地域共生社会					
[授業計画] 3年次後期から4年次前期に開講する。					
1) 1～3名で指定された1か所の訪問看護ステーションで実習を行う。 2) 1人の療養者を受け持ち、情報収集、アセスメント、看護上の課題の抽出を行う。 3) 受け持ち療養者を含む複数の対象者宅へ、訪問看護師と同行訪問する。					
回数	日付	テーマ	内 容		担当
第1回	実習グループによる	事前オリエンテーション	実習目的・目標の確認、実習施設の説明 在宅看護の知識と実践の復習(事例演習を含む)		春日広美 成玉恵 非常勤教員
第2回		訪問看護ステーション実習	実習先に分かれて訪問看護師と同行訪問 受け持ち療養者の情報収集とアセスメント		
第3回		訪問看護ステーション実習	実習先に分かれて訪問看護師と同行訪問 受け持ち療養者の情報収集とアセスメント		
第4回		訪問看護ステーション実習	実習先に分かれて訪問看護師と同行訪問 受け持ち療養者のアセスメントと課題の抽出 臨地カンファレンス		
第5回		学内演習	実習施設の情報、受け持ち療養者の情報、アセスメント、看護上の課題発表、全体カンファレンス、実習記録の整理および提出		
履修条件		高齢者・在宅看護学概論、高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ、在宅看護学方法論Ⅱ、看護技術論Ⅳ～Ⅴ、看護学入門実習、基礎看護実習が既習であること			
予習・復習		予習は、在宅看護論関連の授業内容。自己の課題と目標の明確化(記録に記載)。復習は、在宅看護過程の記録を見直し修正すること。			
テキスト		新体系看護学全書 地域・在宅看護論 メヂカルフレンド社			
参考書・参考資料等		在宅看護学関連、退院支援論、ターミナルケア論等の授業資料			
学生に対する評価		ルーブリック評価表に基づき、下記の配分で評価する。 実習記録 72点 学習態度 28点 出席状況			

授業 科目名	精神看護学実習 Psychiatric Nursing Practicum	履修年次	2 単位 90 時間	担当教員名: 科目責任者 小宮浩美 [看護師] (研究室 教育棟B315) 加藤隆子[看護師] 小林雅美[看護師]
		必修: 看 3・4 年	コード: NSP306	
		実務経験のある教員による授業科目		
[DP] II. コミュニケーション能力 IV. 健康づくりの実践 V. 健康づくりの環境の整備・改善				
[授業の到達目標及びテーマ]				
1) 精神に障害をもつ人を統一体としてとらえ、その人と家族の回復に向けた援助を通して、精神看護実践能力を養う。 2) 対象理解、自己理解、状況の理解を深め、治療的関係を形成する過程を振り返り、看護を実践する者としての自らの強みと課題を見出す。 3) 精神障害をもつ人の回復に向けた保健医療福祉チームにおける看護の役割と課題を理解する。				
[授業の概要]				
精神科病院において学生各自が入院患者を受け持ち、看護を実践する。生物体および生活体の統一体としてとらえ、その人と家族が回復するための看護を理解し、精神看護実践能力を養う。また、対象理解、自己理解、状況の理解を深め、精神障害をもつ人との治療的関係を形成する上での自らの強みと課題を見出す。そして、精神保健福祉の場における実際の活動を通して、精神障害をもつ人の回復に向けた保健医療福祉チームにおける看護の役割と課題を理解する。				
キーワード： 精神疾患、精神障害、精神科看護、治療的関係、精神科リハビリテーション				
[授業計画]				
回数	テーマ	内 容		担当
第 1 回	学内オリエンテーション	実習の目的・目標、概要等の説明		小宮浩美 加藤隆子 小林雅美
第 2 回～9 回	精神科病院および精神障害に対応した地域包括ケア施設での実習	精神科病院において、受け持ち患者とかかわりながら回復に向けた看護を実施し、精神看護実践能力を身につける。 精神障害に対応した地域包括ケア施設における活動への参加を通して地域で暮らす精神障害をもつ人への支援と精神保健医療福祉チームにおける看護の役割を学び、課題について考察する。		
第 10 回	まとめ	実習のまとめ		
履修条件	精神看護学概論、看護技術論Ⅳ～Ⅴ、精神看護学方法論ⅠとⅡ、看護学入門実習、基礎看護学実習の単位を履修済みであること。			
予習・復習	予習：薬理学Ⅰ（総論）、病態学Ⅲ（高齢者・精神疾患論）、精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰ、精神看護学方法論Ⅱの授業資料をよく読み、内容を理解しておくこと。 復習：実習体験を振り返り、レポートにまとめて提出すること。レポートのテーマは実習中に説明する。			
テキスト	特に指定しない			
参考書・参考資料等	関連科目にて使用した教科書、参考書等			
学生に対する評価	実習目標の達成状況（80%）、学修態度（20%）により総合的に評価する。 ＊本実習終了時にはポートフォリオに基づく実習参加に対する振り返りを行うこと（但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない）			

授業 科目名	地域看護学概論 Introduction to Community Health Nursing	履修年次: 必修: 看2年 編3年	単位数: 2 単位 30 時間	担当教員名: 科目責任者 佐藤紀子[保健師] (研究室: 図書館棟1) 雨宮有子[保健師]、細谷紀子[保健師]、 杉本健太郎 [保健師]、松浦めぐみ[保健師]
		実務経験のある教員による授業科目	コード: NSP213	
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践, V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 地域を基盤にした看護活動の基本的な考え方、公的なヘルスケアサービスの中で機能する保健師の活動について理解する。1) 公衆衛生看護の活動目標、保健師の機能役割、活動体制上の特徴について説明できる、2) 地区活動の目標、展開方法について説明できる、3) 地区活動の手段として行う家庭訪問の特徴について説明できる、4) 小集団・地域を対象とした健康教育の考え方と方法について説明できる、5) まちづくりと保健師活動の関連について説明できる				
〔授業の概要〕 保健師の実務経験に基づいて、講義および小グループによる演習を行い、家庭や集団・組織を含む地域を基盤とした公衆衛生看護活動の基本的な考え方と方法の特徴を学ぶ。本授業は、担当教員全員が保健師の実践経験に基づき担当する。講義はオムニバス方式で佐藤、雨宮、細谷が行う。				
キーワード: 公衆衛生看護活動、保健師、地区活動、家庭訪問、健康教育、まちづくり				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	4/10 I・II	地域における看護活動とは	・地域看護活動と公衆衛生看護の位置づけ、 公衆衛生看護の定義と活動目標 ・公衆衛生看護を推進するために必要な能力、 保健師の機能役割、保健師の規定	佐藤紀子
第2回				
第3回	4/17 I・II	歴史から地域における看護 活動の考え方と方法を学ぶ	・住民とともに地域の健康課題を解決・改善す る看護活動について考える (演習)	佐藤、雨宮、 細谷、杉本 松浦
第4回				
第5回	4/24 I・II	日本の公衆衛生看護活動の 歴史と変遷	・保健師活動の源流～保健師規則、保健婦規則 制定以後の保健婦活動、ヘルスニーズに対応 した保健師活動の取り組み	雨宮有子
第6回				
第7回	5/1 I・II	地区活動の手段として行う 家庭訪問の方法①	・行政保健師が行う家庭訪問の特徴について考 える (演習) *家庭訪問活動事例を読み、課 題に取り組む	佐藤、雨宮、 細谷、杉本 松浦
第8回				
第9回	5/8 I・II	地区活動の手段として行う 家庭訪問の方法② 地域におけるケアチームづくり・ ケア体制づくり	・事例を踏まえ、地区活動の手段として行う 家庭訪問の方法を学ぶ ・事例からケアチームづくり・ケア体制づくり への発展を学ぶ	佐藤紀子
第10回				
第11回	5/15 I・II	地区活動の基本 地区活動計画の方法と考え方	・対象集団の捉え方・活動方法の特質、地区活 動計画の方法と考え方、保健師活動と施策化	佐藤紀子
第12回				
第13回	5/22 I・II	地域における健康教育	・小集団・地域を対象とした健康教育の考え 方、方法および実際	雨宮有子
第14回				
第15回	5/29 I	地区活動とまちづくり	・住民とともに展開する保健師活動、住民協力 者・地区組織の育成	細谷紀子
履修条件	特になし(看護学入門、看護入門実習で学んだ内容について振り返りをしておくこと)			
予習・復習	毎回テキストの授業範囲を読んで予習復習すること			
テキスト	① 宮崎美砂子編: 最新公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会 ② 太田祖電他著: 沢内村奮戦記 住民の生命を守る村、あけび書房			
参考書・参考資料等	授業の中で適宜紹介する			
学生に対する評価	学習態度; 積極性 (10%)、事前・事後課題レポート; 準備状況と学習内容の理解度 (20%)、筆記試験; 学習内容の理解度 (70%) により、総合的に評価する。 ※事前・事後課題の詳細や提出方法は、授業時間内に説明する。※本授業終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと (但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。			

授業科目名	地域看護学方法論 I Methods I in Community Health Nursing (Woman and Child Health)	履修年次: 必修: 看2年 編3年	単位数: 1単位 15時間 コード: NSP214	担当教員名: 科目責任者 佐藤 紀子 (研究室 図書館棟1)
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕 III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践, V 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 母子保健・学校保健の観点から、地域全体の健康・生活の質向上を目指し、個人・家庭・集団・地域を対象として生活の場に応じて展開される公衆衛生看護活動の考え方と展開方法について理解できるようになることを目的とする。具体的には、1) 地域保健法に基づく保健所・市町村およびそこに所属する保健師の役割・機能について説明できる、2) 母子保健福祉活動の理念と変遷を踏まえ、子育て支援における保健師の役割と活動方法について説明できる、3) 学校保健活動の実際を踏まえ、養護教諭の役割・機能について説明できる。				
〔授業の概要〕 地域保健活動の基盤となる地域保健法を踏まえ、母子保健に関わる法律・制度、および歴史の変遷、保健師の役割と活動展開の方法について学ぶ。学校保健については、地域社会とのかかわりの中で、学校関係者と家族の健康を支援する方法と、個別援助から学校全体への支援へと発展させる方法について学ぶ。本授業は、第5回目までは保健師の実務経験に基づき佐藤が、第6回目以降は養護教諭の実務経験に基づき特別講義講師の亀崎が担当する。				
キーワード: 地域看護活動、母子保健、保健師、学校保健、養護教諭				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	11/21 45分	地域保健体制下の地域看護活動	・地域保健法に基づく保健所・市町村に所属する保健師の役割・機能 *地域保健法および基本指針の内容を復習	佐藤紀子
第2回	11/28	母子保健福祉対策と保健師活動①	・母子保健福祉活動の理念と変遷、子育て支援システム *テキスト①②を用いて講義内容を予習・復習	佐藤紀子
第3回	12/5	母子保健福祉対策と保健師活動②	・地域の子育て支援における保健師の役割と活動の展開方法① *家庭訪問計画作成課題に取り組む	佐藤紀子
第4回	12/12	母子保健福祉対策と保健師活動③	・地域の子育て支援における保健師の役割と活動の展開方法② *育児期の家族に対する家庭訪問計画について復習	佐藤紀子
第5回	12/19	母子保健福祉対策と保健師活動④	・児童虐待予防活動における保健師の役割 *テキスト①②を用いて講義内容を予習・復習	佐藤紀子
第6回	1/9	学校保健とは学校保健活動の実際	・児童生徒の健康課題の実態、学校保健の歴史・しくみと学校保健活動 ・保健管理(救急処置、健康診断、健康観察、疾病管理予防、学校環境衛生)と保健教育の実際 *学校保健安全法と学校保健の領域・構造、保健管理・保健教育の内容についてテキスト③を用いて予習・復習	亀崎路子 (特別講義講師)
第7回	1/9V	養護教諭の役割・機能①	・養護教諭の職務と保健室経営、健康相談の実際 *保健室の機能と養護教諭の職務の特質、健康相談における養護教諭の役割・機能を予習・復習	亀崎路子 (特別講義講師)
第8回	1/23	養護教諭の役割・機能②	・保健組織活動の実際、学校内外との連携協働を通じた健康支援に果たす役割・機能 *組織活動における養護教諭の役割・機能を予習・復習	亀崎路子 (特別講義講師)
履修条件	特になし(地域看護学概論の学習内容を復習しておくこと)			
予習・復習	上記内容の*に示すとおり			
テキスト	①「国民衛生の動向」厚生労働統計協会 ②「最新公衆衛生看護学 各論1」第3版 日本看護協会出版会 ③「学校保健—ヘルスプロモーションの視点と教職員の役割の明確化」東山書房			
参考書・参考資料等	「新版 養護教諭の行う健康相談」大谷尚子 他著、東山書房			
学生に対する評価	学習態度; 積極性、事前課題の取り組み状況(10%)、筆記試験; 学習内容の理解度(90%)により、評価する。※事前課題の詳細や提出方法は、授業時間内に説明する。※本授業終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと(但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。			

授業科目名	地域看護学方法論Ⅱ (Methods II in Community Health Nursing (Health Promotion, Disease Prevention, and Wellness))		履修年次: 必修: 看3年 必修: 編3年	単位数:2 単位 30 時間 コード: NSP215	担当教員名: 科目責任者 雨宮有子 [保健師] (図書館棟 2)、 細谷紀子、杉本健太郎
			実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ健康づくりの環境の整備・改善					
〔授業の到達目標及びテーマ〕 ライフステージ・健康レベル・生活の場の特性に応じた公衆衛生看護活動の考え方や展開方法について理解できる。関連する各種法制度・保健施策等の変遷と現状について理解できる。					
〔授業の概要〕 (各教員が保健師の実務経験に基づき、オムニバス方式により、以下の授業計画のように担当する) 地域全体の健康・生活の質向上を目指し、個人・家族・集団・組織・地域を対象として、ライフステージや健康問題の観点から、家庭や地域、職場といった生活の場に応じて展開される公衆衛生看護活動の考え方や展開方法について学習する。 具体的には、成人・高齢者支援、障害児者支援、難病対策、感染症対策、産業保健に関わる内容について学ぶ。					
キーワード: 成人・高齢者保健、障害児者支援、難病支援、感染症対策、産業保健					
〔授業計画〕					
回数	日付	テーマ	内 容		担当
第1回	4/15(火) I	成人・高齢者 保健活動 1~4	・保健の動向・成人保健の理念・歴史的変遷 ・成人保健施策と保健師活動 (健康日本 21) ・成人期の生活と個人・家族・集団・組織への健康支援 ・高齢者支援における保健師活動		杉本健太郎 [保健師]
第2回	4/15(火) II		・介護予防活動の基盤となる施策・制度・事業 ・高齢者の権利擁護、地域における高齢者虐待防止活動 *テキスト①3 編 1 章・2 章 2、②1 章 II の予習/復習		
第3回	4/22(火) I		・障害児者保健福祉行政施策の成り立ちと現状 ・障害児者および家族への支援の基本と保健師の役割 ・障害児者への支援における地域体制づくり ・地域における自殺対策と心の健康づくり *テキスト①3 編 2 章 3・4、②第 2 章 I II の予習/復習		
第4回	4/22(火) II		・難病患者に対する保健・福祉施策と保健師活動 *テキスト①3 編 4 章 2、②第 2 章 III の予習/復習		
第5回	5/13(火) I	障害児者 保健活動 1~4	・感染症対策の変遷と保健師活動 ・結核対策の概要と保健師活動 *テキスト①3 編 3 章、②第 2 章 IV の予習/復習・成人		雨宮有子 [保健師]
第6回	5/13(火) II		・産業保健・看護の理念、産業看護職の職務 ・産業保健関連法規と産業保健活動 ・対象者の理解と産業保健活動 *テキスト①8 編		
第7回	5/20(火) I				
第8回	5/20(火) II				
第9回	5/27(火) I				
第10回	5/27(火) II				
第11回	6/3(火) I				
第12回	6/3(火) II				
第13回	6/9(月) II				
第14回	6/16(月) I				
第15回	6/16(月) II				
履修条件	なし。但し、地域看護学概論の教授内容について復習し理解している状態で履修してください。				
予習・復習	上記*を参照				
テキスト	① 厚生労働統計協会編: 国民衛生の動向 (2 年次購入済) ② 宮崎美砂子、他編: 最新公衆衛生看護学 各論 1、日本看護協会出版会 (2 年次購入済)				
参考書・参考資料等	・河野啓子: 産業看護学 (最新版) 日本看護協会出版会 ・労働衛生のしおり (最新版) 中央労働災害防止協会				
学生に対する評価	定期試験; 学習内容の理解度 (90%)、授業態度; 積極性 (10%) により、総合的に評価する。 ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと (但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。				

授業 科目名	地域看護学方法論Ⅲ Methods III in Community Health Nursing (Community-Focused Nursing Process)	履修年次: 必修: 看3年 編3年	単位数: 1単位 30時間 コード: NSP216	担当教員名: 科目責任者 佐藤紀子[保健師] (研究室: 図書館棟1) 雨宮有子[保健師]、細谷紀子[保健 師]、杉本健太郎 [保健師]、 松浦めぐみ[保健師]
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びビテーマ〕 地域看護管理の概念と特徴を学び、地区管理の視点から、一定地域の健康課題の分析および地区活動計画の立案ができる。演習を通して地区管理の方法を具体的に理解し、地域全体を支援する地域看護の特性及び保健師の役割について理解する。				
〔授業の概要〕 保健師の実務経験に基づいて、地域における看護管理の基本的な考え方を教授し、紙面上の地区活動事例を用いて、一定地域の情報収集・分析・地区活動計画の立案過程について演習を行う。本授業は、担当教員全員が保健師の実務経験に基づき演習を担当する。講義部分は、佐藤と細谷が担当する。				
キーワード: 地区活動、地区診断、地区活動計画立案、地域看護管理				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内容	担当
第1回	6/10 Ⅱ	地域看護管理	・地域における看護管理の機能とその特徴	佐藤紀子
第2回	6/17 Ⅰ	地区活動の過程と 地区診断	・地区活動の過程と保健師が行う地区診断の特徴・方法	細谷紀子
第3回	6/17 Ⅱ	地域の実態把握1	・事例の背景にある問題の抽出と整理 *次回までの個人ワーク①: 上記内容	佐藤、雨宮、 細谷、杉本、 松浦
第4回	6/24 Ⅰ	地域の実態把握2	・個別事例の実態の集積と構造化	
第5回	6/24 Ⅱ	地域の実態把握3	・地域全体の状況把握のために収集すべき情報の整理 *次回までの個人ワーク②: 上記内容	
第6回	7/1 Ⅰ	地域の実態把握4	・地域の実態の集積と構造化	細谷紀子
第7回	7/1 Ⅱ	健康課題の分析方法	・集積した地域の実態から健康課題を分析する方法 *次回までの個人ワーク③: 健康課題の分析	
第8回	7/8 Ⅰ	地区診断1	・地区診断の実施 (健康課題の明確化) ①	佐藤、雨宮、 細谷、杉本、 松浦
第9回	7/8 Ⅱ	地区診断2	・地区診断の実施 (健康課題の明確化) ②	
第10回	7/15 Ⅰ	地区活動計画立案の 方法	・地区活動の過程と計画立案・評価の方法	細谷紀子
第11回	7/15 Ⅱ	地区活動計画立案1	・地区活動目標と活動方針の設定 *次回までの個人ワーク④: 地区活動計画の情報収集	佐藤、雨宮、 細谷、杉本、 松浦
第12回	7/22 Ⅰ	地区活動計画立案2	・次年度の地区活動計画の作成①	
第13回	7/22 Ⅱ	地区活動計画立案3	・次年度の地区活動計画の作成②	
第14回	7/29 Ⅰ	まとめ1	・地区活動計画の発表と意見交換①	
第15回	7/29 Ⅱ	まとめ2	・地区活動計画の発表と意見交換②	
履修条件	特になし (地域看護学概論で教授した内容、特に「地区活動の基本」「地区活動計画の方法と考え方」について復習し、理解している状態で履修すること。)			
予習・復習	上記内容にある*が予習課題となる。課題の取り組み方法等は授業内で説明する。			
テキスト	特に指定せず			
参考書・参考資料等	宮崎美砂子編: 最新公衆衛生看護学 総論 (日本看護協会出版会)、 国民衛生の動向、 神馬征峰訳: 実践ヘルスプロモーション (医学書院)			
学生に対する 評価	グループワークの取組状況; 学習内容の理解度と積極性 (20%)、個人ワーク; 学習内容の理解度 (35%)、 最終レポート; 到達目標の達成度 (45%) により、総合的に評価する。 ※レポート課題の詳細や提出方法は、授業時間内に説明する。 ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと (但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。			